

博士学位論文 審査結果の要旨

芝浦工業大学大学院 理工学研究科 博士（後期）課程
博士学位論文審査委員会

主 査 橋田規子

審査委員 吉武良治

審査委員 梁 元碩

審査委員 蘆澤雄輔

審査委員 長尾徹

*審査委員

氏 名	大野 香織
論文題目	舞踊ポーズと人が感じる印象の認知評価構造の解明とそれを用いた指導法への応用
〔論文審査の要旨〕	
<p>21世紀を生きる人々の心の充実として、文化庁は文化芸術の創造発展、継承と教育の充実を目指した計画を進行中である。文化芸術のひとつである舞踊分野では、2008年より、小学校、中学校へダンス教育が取り入れられている。ダンス教育では身体によるコミュニケーション力を育成し、イメージに相応しい身体表現動作へ結びつけることが重要なポイントとされている。本研究ではバレエのポーズをテーマに、人が感じる印象の認知評価構造の解明と、それ等を活用した指導法へ応用することを目的とした。これまでの舞踊研究は、科学的な分析はほとんど行われてなく、多くが文系研究である。科学的研究としては舞踊譜のコンピュータ解析に関する内容が主である。1980年以降発展してきた感性工学の確立によって、舞踊が人の感情に与える感性の科学的分析が可能となった。</p> <p>研究内容は、はじめにバレエ上級者による認知評価構造を、主成分分析とラフ集合により分析した。次に未経験者と上級者の認知評価構造の比較分析を行い、認知評価構造上の差を抽出し、類型化した。最後に、これらの知見を活用して、認知評価構造の社会的コミュニケーションへの応用として指導方法を提案した。</p> <p>最終審査は2022年8月8日月曜日10時～11時半でZoomを用いたオンラインで行い、申請者による約1時間の発表の後、質疑応答を行った。参加者は審査員5名と大学関係者、舞踊研究者、現役学生など31名であった。質疑応答では「膨大なバレエの動きからどのようにポーズを絞ったのか」、「感性評価用語をどのように抽出したのか」、という質問があり、専門家複数名で精査して実施した旨を回答した。</p> <p>予備審査では、各章のはじめに手法の説明に加え、その後の結果説明においても手法説明があり、重複が多くわかりにくい点があったが、最終発表ではこの指摘事項を反映し、わかりやすい構成になったことを確認した。最終審査を経て、審査員5名全員が論文としては一定のレベルを達成していると判断し、合格が認められた。</p>	